

オンラインイベント

「ヤマメシが教えてくれること～世界をちょっと良くする選択肢～」を開催

—ヤマメシでSDGsを体験してみませんか？—

【概要】

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）は、参加者がヤマメシ（登山のときに山で食べる食事）を楽しむことをきっかけに、SDGs（持続可能な開発目標）を体験し、SDGsの根幹となる理念「No one will be left behind（誰一人取り残さない）」の大切さについて考えることをテーマにしたオンラインイベントを実施します。

【趣旨】

2015年に国連で採択されたSDGsの達成に向けて、国や自治体、企業だけでなく、個人や小規模グループレベルでの活動がますます広まっています。本学においては、2020年4月に発表された「THE大学インパクトランキング2020」（大学の社会貢献の取組を国連のSDGsの枠組みを使って可視化するランキング）において、総合ランキングで国内1位（世界76位）に選出されました。一方で、採択から6年が経過した今もSDGsを認知していない、あるいは認知はしているものの自発的に取り組むことに対して気乗りしない市民が多いのも事実です。CoSTEPでは、そういった市民がSDGsへの自分なりの発見を得ることのできる対話型のイベントが有用であると考えました。

本イベントでは、普段からSDGsやそれを取り巻くサイエンスに触れる機会が少ない層にアプローチするため、「ヤマメシ」を楽しむイベントの形式をとっています。単なる栄養補給になりがちな山という厳しい環境下での食事を、様々な工夫を凝らし準備することで、温かく、時には写真映えするようなおいしいものにするヤマメシの考え方は、一見SDGsと関係のないように感じますが、SDGsに取り組む際に有用となるヒントが詰まっているのではないのでしょうか。

また、ヤマメシはアウトドア業界で人気の高いジャンルであり、昨今のキャンプブームとも親和性が高いものでもあります。「SDGsについてのイベント」と聞くと参加に躊躇してしまうような人にとって、「ヤマメシを楽しみながらSDGsについて体験できるイベント」となることを期待しています。

イベントでは参加者がヤマメシを楽しむコンテンツと、「自分にとって心地よい選択と世界がつながる」ような、SDGsに基づく行動を考えることのできる対話を伴ったワークをおこないます。ヤマメシをきっかけとしたこれまでにない全く新しいSDGs体験イベントで、ちょっと気軽に未来の自分と世界の姿について想像してみませんか？



- 【日 程】** 2021年2月7日(日) 13:00~14:30
- 【主 催】** 北海道大学 CoSTEP 対話の場の創造実習
- 【対 象】** どなたでも
- 【定 員】** 30名(抽選にて決定)
- 【参加費】** 無料
- 【言 語】** 日本語(同時通訳無し)
- 【申込方法】** Webでの事前申込み制
2021年1月25日(月) 午前9:00締切
- 【W e b】** <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/costep/contents/article/2284/>

お問い合わせ先

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション
教育研究部門(CoSTEP) 担当 梶井宏樹(かじいひろき)

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320 メール h-kajii@open-ed.hokudai.ac.jp

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/costep/contents/article/2284/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課(〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目)

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp